

## ひまわり発達相談センターの 保護者の仲間づくりの取り組みについて

当センターでは、支援者が保護者と十分な関わりを持ち、支えていくことと保護者同士の関係性の中で支え合うこと(ピア・サポート)が保護者支援において重要であると考え、取組んでいる。

ピア・サポートの実現を目指した保護者の仲間づくり・学習機会は、下記のとおり、発達支援施策に関するロジック・モデルを運用した取組みでもある。

### 直接目的 01

↑ 子どもの発達に心配のある保護者が、必要な時に的確な情報・助言を受けることができる

### 具体的手段 0101

↑ 保護者が、誰かに気軽に子育ての悩みを相談しようと思えることができる

### 具体的手段 010105

支援を必要とする子どもの保護者同士をつなげる仕組みがある

### 《経過》

- 平成26年度協議会委員の保護者の方々との意見交換を行い、保護者の視点を踏まえ、試行実施した。その後、元当センター利用者でヨガのインストラクターのU氏のボランティアの申し出があった。

身体を動かすプログラム(体操、ヨガ)を導入することでリラックスし、自然な気持ちの中で会話が弾む環境を提供する。フリートークの中で保護者のニーズを探っていく。

- 平成27年度本格実施、参加者の希望を踏まえ、リラクゼーションと情報交換(自己紹介など)を年3回実施。また、U氏のボランティア講師の協力を得る。
- 平成28年度、年5回実施。保育ボランティアの活用を開始。U氏のボランティアの継続。参加者との語り合いを試みるが、実際には難しさがあった。
- 平成29年度は年6回の予定で実施。先輩ママの体験談(お話会)を取り入れた。

### 活動の流れ

10:00～ヨガ開始

11:00～質問タイム(お話会)

11:30 終了

#### 《参加者の状況》

- 活動のヨガには興味を持つ保護者も多く、リピーターが徐々に増えてきた。
- 保護者同士が顔見知りになることで安心して参加できる場になりつつある。
- 活動後半に質問タイム(円座)を設けたことで、個人的な健康に対する疑問でも積極的に聞かれるようになり、和気あいあいとした雰囲気になりつつある。

#### 《成果》

- 身体を動かすことで気分転換につながり、保護者が自分のためにリフレッシュできる時間として参加してもらっている。また、安心できる場になっている。
- まだ一部ではあるが、保護者同士が顔見知りになってきた。
- お話し会終了後、「とても共感した」「もっと聞きたかった」などの声が聞かれ、先輩保護者と連絡先を交換し合う場面も見られた。

#### 《課題》

- 保護者同士、ヨガの話題や雑談では語り合いができていますが、子育てや発達の悩み等の話題ではまだできていない。

#### 《今後の方向性と取組み》

- 同じ保護者の立場からの話を聞く機会を設けることで、話をしてみようと思えたりすることにつながる可能性を考え、引き続き取り組んでいく。
- 保護者同士がお互いに語り合い、支え合える関係(ピアサポート)につながっていくことを目指していく。
- 当センター利用者に掲示する活動報告の中で分かりやすく伝える。